

| | | | | |
|------------|---|------|-----|---|
| ふりがな 氏名 | やまだ ひろちか | 都道府県 | 愛知県 |  |
| | 山田 浩慶 | | | |
| 所属/肩書 | 中部大学第一高等学校 / 教諭 | | | |
| 関心・活動のSDGs |   | | | |
| 私のESD活動 | SDGs 探究を核にした「不言実行あてになる人間」の育成と地域一体型の環境教育 | | | |

活動の概要

私は高校での学習基盤である授業を通して、建学の精神「不言実行あてになる人間」の育成を目指したいと考え、カリキュラムへSDGsを位置付けた。それにより、総合的な探究の時間と各教科を横断的に捉えることが可能となった。さらに、探究学習の学びのフィールドの一つとして、昨年度よりカンボジアESD研修を実施している。この研修では、世界遺産保全活動や寺子屋交流を中心に、SDGsの全目標を個人の学習ニーズに応じてフォーカスすることが可能となっており、普段の探究学習と合わせた一連の流れを形成している。現地では、遺跡保全活動の現実とカンボジアの生活に触れ、新たな問題意識を持った生徒も多かった。事前学習開始前と全研修終了後に行ったESD資質能力調査を通して、生徒の自己肯定感の確かな高まりが観察された。その後も参加生徒たちは諸課題に意欲的に取り組んでおり、活動を通しての変容が見られる。昨年度の参加者は、今年度の研修の事前学習にファシリテーターとして参加する予定である。

私はまた、ESD部の顧問をしている。同部は、本校が位置する日進市環境課と連携し、主に環境配慮行動であるCOOL CHOICEプロジェクトを教育という観点から展開している。部員はCOOL CHOICEの教材開発を継続しており、主に地域の小学生とその家庭を対象に環境教育活動を行っている。また、同活動におけるCO2削減効果のシミュレーションを試みている。

・中部大学第一高校 HP「海外研修」 <https://sites.google.com/chubu-ichi.ed.jp/chubu1blog/>

私が考える教育の未来像

社会で求められる人材は時代に応じて変化してきている。その中で今後の教育に求められるのは柔軟性だ。何かの知識を覚えるだけでなく、それを基に生徒個人のニーズに応じて創造的に行動できる人材を育成することが大切だと私は思う。社会における他者とのつながりという観点から見ると、主体性とコミュニケーション能力がより問われる世の中になるとも考えている。これらの力を生徒に総合的につけてもらうには、教科という枠組みにとらわれることなく授業の質の向上を考えていかなければならない。教員同士がコミュニケーションを取り、分野の垣根を超えることがこれからの教育の当たり前の形になるはずだ。

私の強み、活かせる経験やスキル

私の強みは実行力とICTのスキルである。新たな学びの場を提供したいと考え、私はカンボジアESD研修の企画、運営を行った。事前学習から現地での活動、事後学習に携わり、生徒の変容を肌で感じる事ができたのはこの上ない経験となった。また、私はESDで育みたい力の涵養において、ICT教育が有効であると考えている。そのため、普段からタブレットを活用した双方向的な授業の展開を得意とする事も他の参加者へと還元できるスキルの一つである。

上記の通り、これまでに実行してきた持続的な学びの場の提供やそれに紐づくICT教育の経験は、他の参加者に対して生かすことのできる経験である。